

## ー人類最後最強の天啓者ジュセリーノ氏の地球生存環境激変予言ー

### <<36年後に人類80%が消滅!!!!?>>

予兆はあるが現状趨勢では“まさか!”、だが彼の予言の精緻さは明白に公証されてる!!。ぎりぎりだが、まだ救済の可能性は残されてる!。危機は予言警告を実直に受け止める事で被害を最小に食い止められるのだ!。今の我々には真相大決断と大団結が要求されている!。その期限は **2007年12月31日!!!**。 <07/12/23~29>

#### ー参考文献ー

- <1>Jucelino Nobrega da Luz 著、山川栄一訳、ジュセリーノ未来予知ノート、ソフトバンク クリエティブ、2007.
- <2>マリオ・エンジオ著、山川栄一訳、未来からの警告、たま出版、2007.
- <3>Jucelino Nobrega da Luz 師の web site=<http://www.jucelinodaluz.com.br/>  
但し上記サイトはポルトガル語です。
- <4>たま出版の web site=<http://www.h2.dion.ne.jp/~apo.2012/hitokuchi021.html>

貴方の未来予言は余りにも大事件と大惨事ばかりだ、良い話はないのか質問に対して「大災害だが、当事者への**予言警告で被害を最小にすることができます**、それが利益であると思います」。大危機回避に人類は何をすべきかかの質問に「全災害は自然環境破壊が止まらないからです。人類が生存死滅のどちらを選択するか**の期限は2007年12月31日**との神啓示を信じます。すぐに物質崇拜生活を止めて倫理道義と無償の愛の精神価値を重視する思想転換(信仰復帰)がなければなりません」。一つ有用な回答として次がある。  
「貴方が善意を実行すれば、恐れは無用になります」。

## ①超能力未来予知と未来変更可能性の両方同時成立の科学根拠：

本 site 初の掲示は「[奴隸日本](#)」だが、その主題が最前線の量子物理学と論理学が超常現象、超能力予言を肯定する物であり、その根拠に従い、宗教サタン予言から人類近代史と現代混沌原因を解明した。詳細は再度、該当項目を参照されたし。以下にその趣旨内容を要約。

従来、**超常現象**は科学法則に乗らない事で虚偽、いかさまのレッテル張りで世間から駆逐されてた経緯がある。近代の反宗教もそれに便乗した歴史がある。だが論理学は正に科学法則に乗らなくてよい事を証明してしまうのです。この逆説性理解が鍵になる。科学と宗教は両立どころか、この事実は宗教復活を当然意味、人類命運が懸かるのです。

### ①実数0の非決定性：

- (1)物理的対象の計測基準となる実数には不確定性が存在する。特に従来常識転覆になるが「実数0は無にして無にあらず」の矛盾性が存在する。それは $N \equiv \{1, 2, 3, \dots, M, \dots\}$ の自然数集合の最大値M(無限大)が決定不可能にある事に由来する<ゲーデル不完全性定理>。
- (2) $P \equiv \{1, 1/2, 1/3, \dots, 1/M, \dots\}$ は自然数の逆数集合だがその最小値=0が証明可能。だがそれは一方でN最大値の逆数だから不定にもなる。不定な相手に確定的命題は成立不可能。

## ②矛盾実現はなんでも可能の秩序破綻無法則世界になる！：

### (1)論理学入門：

真偽判断対象になる断定文を**命題**と言う。命題Aと命題Bから{A and B}, {A or B}, {if A, then B}, {not B}も命題になる。最後は真偽が反転する。

### (2)矛盾実現と物理法則からの非拘束化：

{A and (not A)} = Cは真と偽のandだから必ず偽。物質世界では命題Aとその否定命題がWイメージで見えるなどはありません(物質物理法則の否定&肯定命題同時成立の実現不可能性=無矛盾性)、然るに「**真とは実現(観測可能)**」と言う意味もわかる。

☞：無矛盾性があると原因Aに対して結果Bが唯一決定だから、**因果律成立**が判る。

之こそが物質世界が数学記述される起源になる事に留意。

### (3)矛盾実現あらば任意命題が真になる<矛盾崩壊定理>。

Aとその否定Aが成立とはAとA以外の物の総和で**全部**、それが真と言うから全部が真になる。**全てが実現可能と言う物理法則が崩壊した世界を意味する**。現実世界ではだから矛盾は言語上、紙面上の嘘, でたらめ, 誤り, 設計ミス等になる。**嘘誤り、機械の故障等は秩序破綻**になる。上記説明は簡易解釈法、詳細は論理学教科書参照。

(4)だから条件法命題{if A, then B} = Cで**前提A=偽ならばB内容に無関係に結論C=真**になる事に留意。条件法命題のこの部分は直感では理解しにくい。

③物理真空世界は矛盾実現、なんでも可能の超常世界(神仏霊の存在定理1) :

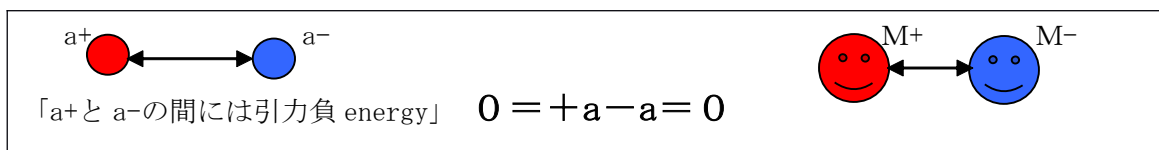
- (1)標準物理学に従えば理論実験双方で真空から素粒子  $q+$  と反粒子  $q-$  が同時生成、かつ瞬時に同時消滅が全域全時間で反復超振動する**真空偏極反応=VP** が公認されてる。
- (2)常識としても無から有が創生とは因果律破綻の矛盾現象性が判るだろう。
- (3)素粒子  $q+$  と反粒子  $q-$  はその energy 以外の各種物理量が±対象、即ち  $0 = +a - a$ 。  
energy に関してはそれを相殺する負 energy ゲージ粒子が発生と消滅に付随するし組み。
- (4)厳密な意味で反粒子生成とは素粒子消滅と書ける矛盾実現。だが真空偏極は物理的に非可観測 = **0 実現確率** に整合解釈されて、標準理論体系には支障なし。
- (5)と言う事は前記②に従い、真空世界は何でも可能の魔法神仏世界になる事が証明される。

(6)「超常現象はかくの如く物理法則の外と言う論理整合で科学解釈できるのです！」。

然るに 0 確率は無にして無でない矛盾性こそが宗教超常現象に機能する訳です。

④物理真空世界は矛盾実現、なんでも可能の超常世界(神仏霊の存在定理2) :

- (1)上記③(3)で素粒子  $q+$  と反粒子  $q-$  は  $0 = +a - a$  の様式で生成消滅してる事を指摘した。  
この状況を**双極子**と言う。



- (2)所が素粒子が複合結合した原子核を構成する中性子, 陽子等の複合粒子、しいては原子核、分子、果ては人間をも含む任意巨大化学物質Mにても真空中に双極子  $M+$ ,  $M-$  の双極子が形成される反応存在が**標準ゲージ場理論**から立証できる。
- (3)と言う事は真空中には生前死後を通じて、我等の片割れ=霊が存在する事になる。  
双極子霊は思考し、地上我らを見守る存在と言えるのです。この事は世界各地の歴史上と現在の各種霊現象報告例を根拠つける事になる。

⑤超能力預言者型(1)とは霊世界交信者 :

「真空魔法世界の神仏霊は全知全能者である」。従って彼らとの交信が可能ならば地上に天啓預言者があっても合理説明が可能になる。この交信可能性を保証するのが縦波電界波=電荷密度波=B波の存在だ。之は通常の通信で商用される横波電磁波=A波が電力要の電流駆動に対してB波は電荷駆動で何と電力無用で放射できる。従来の電磁気学では後者教程は無視されてる。B波放射アンテナは容量性で電力無用が簡易に証明される。それは宇宙創始が  $0 = +E$  (物質正 energy)  $- E$  (重力場負 energy) で保存則成就に同じ。即ちB波放射の正 energy は重力場に同量負 energy 形成で相殺される。神経生理反応は電気化学反応であり、それは電荷放射源にもなるし、時間逆行で見れば受信源にもなる。臨床例として有名なのが双子間の遠隔意思疎通=テレパシーとして知られてる。

⑥超能力預言者型(2)とは真空霊世界への意識移動者(仮想霊化, 幽体離脱) :

筆者推察では無意識時期に上記①④(3)で述べた真空中の双極子存在の自己片割れへ $M^{\pm}$ への意識の真空間移動が起き、一時仮想的に霊存在状態に化すと見られる。一度霊存在化すれば真空矛盾性により物理法則に拘束されない何でも可能が成立。時空を自由に移動する事で歴史現場に立ち会う事すら可能になる。この状況は後に述べるジュセリーノ氏の予知状況に関する生々しい証言ともよく合致する。因みに般若心経の末尾文の意味は「この世とあの世を往来する者(天啓者)に幸あれ」である。

⑦超能力予言は古代近代現代の支配者独占で秘密隠蔽されてきた。

現代の火急危機に際して最早、この秘密を隠蔽する事は有害と判断される。と言う事はノーベル賞に典型を見る既成科学者とは現代を裏表で少数支配にある世襲王侯財閥貴族の紐付きなのです。彼ら業務とは超能力を科学の名の下に切り捨てる事にある。従来の超能力予言は彼ら少数支配者覇者が己保身に秘密利用してきた存在で、だから**超能力こそは民主化有効利用すべき科学を超えた存在なのです!**

⑧宇宙発展史は量子物理学的には確率過程、現宇宙人類歴史は一つの0実現確率標本過程:

◀「予知可能であり、かつ人為努力で変更可能」の矛盾成立の根拠▶

- (1)天気予報は大気流動の時間発展=確率過程に関わるNS方程式を、各地の現状測定値を付随入力する事での大型計算機解析で得られる。NS方程式は**決定論方程式**であり、従って得られ解は決定論関数で結構精度良く解かれるにも係らず奇妙なのである。長期予報が難しいのだ<カオス現象>。その理由は天気時間発展のマイクロ大気反応が確率過程であり、その実現は統計集団中の一つの**標本過程**と呼ばれ、それはサイコロの名目同様に一つの確定した決定論的存在である。サイコロは1/6で有限な確率値を持つが、実は確率過程標本の実現確率値は問題の実数0である。本来は見えない0確率現象を我々は解析してるのだ。だからお化けの足同様に長期予報が見えにくい。

- (2)我々宇宙人類史も物質時間発展の上にある事になる。その基礎方程式は天気同様に確率過程としての記述になる事が厳格に言える。即ち我々の歴史は0確率標本過程になる。有限な誤差幅を許した時間過程全部を数え上げると有限な確率値になると言う話だ。だが実現される過程は一つであり、それには誤差幅がないので実数0の確率になる。確率密度関数を知る諸君ならば意味が判るだろう。それは決定論存在だから、予知可能であり、実数0確率性から矛盾性も備える事になる。矛盾性とはズバリ決定性と非決定性(人為意思での未来変更)。

- (3)無であり、無でない実数0矛盾性こそが「予知可能であり、かつ人為努力で変更可能」という矛盾命題性が整合化する根拠と断言できる。筆者は之を強調しておく!**実際ジュセリーノ氏予言は当事者への通報により、歴史変更で救済事例多数があるのだ!!**

## ② 人類最後最強の天啓者ジュセリーノ氏の重大予言：

### ① ジュセリーノ氏の予言法と当事者への警告手紙郵送、予言文章の公証役場登記：

- (1) 従来の預言者と全く異質な点は彼は主に災害事件情報を夢告知で受けると、即座に文書化、**関係当事者に警告通知郵送する事を無償使命**とし、かつ予言の公正証明合理化を計る意味で**公証役場に関係資料を登記**と徹底する、その結果予言的中確率90%と言う脅威の成果を挙げてる。予言が外れる場合もあるが、その中には警告に従って当事者が回避した場合も含まれ、彼は己予言が外れる事を喜びとしているのです。彼は国連にも天候地球規模危機等で警告報告書を上呈、国連から感謝メダルを授与されてる。
- (2) 彼には未来予知の3形態があり、一つは就寝中の夢で、観察情景が3次元化して現場に立ち会う状況が展開され、かつ姿形はないが**助言者**と呼ばれる者から言葉で指導を受け、その指導に従って行動が決まると言う。事件日時と場所決定では特別な古代数学が使用されると言う。ただし夢解釈には難儀する場合もあるらしい。筆者推察では就寝無意識時期に霊の**①④(3)双極子存在の自己片割れへの意識の真空間移動**が起き、一時仮想的に霊存在状態に化すと見られる。エドガー・ケーシー氏の場合は**B波交霊通信**と見られるが、助言者問題に限れば彼はケーシー氏と同じにB波交信もある様にも見える。
- (3) 彼は**史上最大の人類不幸目撃者**、彼が忍耐生存できるのは**救済使命**を授かる事による。この超特異事情から彼の心情純粹(天使)性が判別できないようでは大人でない!!。彼は週6日未来夢を見る天命にあけ、休日は一日のみで生きているのです。

### ② 過去ジュセリーノ氏が的中させた重大予言<完全なリストでない。詳細は原文<1, 2>：

☞：(1972→1986)は前者が認知年、後者が事件発生年。

- (1) 米国スペースシャトルチャレンジャーの爆発墜落(サンパウロ州知事手紙 1972→1986)。  
(2) チェルノブイリ原発事故(ウクライナ大統領宛手紙 1980→1986)  
(3) 阪神淡路大震災と5000人以上の死者(ブラジル日本大使館、東京天皇宛 1979→1995)
- (4) 長崎市長暗殺事件(2007)  
2007/12/21日4ch放映ではジュセリーノ氏手紙が紹介されていた。因みにこの番組を偶然TVを見て同氏の非尋常性を遅ればせながら察知、23日から本報告が書かれた。
- (5) 東京地下鉄サリン事件(天皇と警察当局へ手紙 1989→1995)  
(6) 9/11米国双子塔テロ事件(パパブッシュ大統領手紙 1989→1995)  
(7) イラク戦争(ブッシュ大統領手紙 2001/10/1→2003/3)
- (8) ダイアナ妃暗殺(本人へ手紙 1997/3→1997/8)  
(9) スマトラ沖大地震とインド洋大津波(モルジブ大統領へ手紙 1996→2004)  
(10) オーストラリアの早魃(米大統領手紙 1999→2002)  
2002年以後オーストラリアは大早魃に見舞われ、世界穀物需給に大影響。



③ ジュセリーノ氏の今後世界の重大予言<完全なリストでない. 詳細は原文<1, 2>:

ー国内地震ー

- (1)2008/2/15~28、M6.3(川崎)
- (2)2008/4, 5/14、 M6.7(千葉)
- (3)2008/9/13:M8.6(東海)、3万人被災、600人以上の死者、  
日本でなく中国の場合がある。その時は日本より被害拡大、
- (4)2009/1/15:M8.9(大阪神戸)、死者数十万人
- (5)2009/11/17:M8.2(大阪神戸)、死者数千人

ー近隣諸国の地震ー

- (6)2008/1/15:M7.8(インドネシア バリ島)、死者5000人以上。
- (7)2008/3/8:M8.6(台湾プーリ市)、被災者3000人、
- (8)2008/5/9:M8.6(ロシア、ユジノサハリンスク)、死者数千人、
- (9)2008/9/13:M9.1(中国)、“100万人以上死者”、中国でなく日本東海の場合がある。
- (10)2008/11/15:M7.8(フィリピン)、死者5000人以上。

ー「焼け石に水」の京都議定書ー

ジュセリーノ氏に関して一つ特長は個人攻撃的言明がない事だが之だけは例外のようである！ 排出権取引など程度では逃げ口実なのだ。CO2を80%削減せねば回復が無いと彼は言う。だとすれば現状は確かに鹿に焼け石に水と言う事だ。

ー2008年～2043年までの地球天候-地殻異常-彗星衝突；政治混乱等の歴史的激変様相ー

<<ジュセリーノ氏予言使命の本髄が上記の人類破滅回避>>

2008年以後は温暖化異変が一層顕著化して、世界各地で洪水. 旱魃が平行して起きる。(2003後の東アフリカ大旱魃、2002後のオーストラリア大旱魃、中国欧州大洪水はその前兆) 台風強度は過去になく増強(米カトリーナ)、人命社会基盤大破壊と農資源環境激変、食糧、水の危機が起こる。この事は世界各地での資源争奪に発展、温暖化では新疫病での大量死もあり、人類間の憎悪が拡大する。天候に限らず、巨大地震と火山噴火の天変地異も起こる。森林破壊はCO2吸収疎外になるだけでなく、砂漠化はこの土地に潜在する病原菌を拡散させて新たな疫病源なる。海面上昇ではベネチア等が水没、島諸国も同じ運命だろう。

2013～2043年は灰色の時代と呼び、2043年に人類80%が死滅する事態になると言う。それ以前に恐竜全盛時代を一気死滅させた彗星の地球衝突があるらしい。注目すべきは予言では第三次世界「軍事大戦」が「天変地異大災害」に摩り替る事である。この間、人類は各種発明もするが救済の一撃が科学技術では見当たらない。予言は宗教心を推奨してる！

#### ④天啓者ジュセリーノ氏の現代人類への期待：

(1)現在の彼の最大懸念事は2008年以後の地球自然環境の激変化による災害規模劇甚化、その為に商業化物質崇拜主義の生活を、精神主義的価値に移行せねばならないと主張を掲げてます。……」〈1〉。彼は次の様にも述べてる。

(2)「神に何も願うべきでない、ひたすら地球自然資源に感謝すべきです。われ等に生命を与えた大自然とその偉大な創造主に感謝すべきです。無償の普遍的な愛による倫理と謙虚さだけが子孫存続を可能にするのです」。〈2〉

(3)上記偉業にも係らず、他方で彼には弾圧迫害がある、それは彼自身の口からも迫害がある事を述べてる。もう一つ証拠が自国ブラジル以外での出版物が今回上記〈1, 2〉の日本語版以外にない事だ。**彼の主張は全人類同意なくて到底達成できる内容でない事だ!!**。かって米国はその超能力買収を試みたがジュセリーノ氏から拒絶されたと言う。これら事実を裏返せば次の命題も避けがたい！

(4)ジュセリーノ氏は天界から人類救済を授けられた天命者であることになる。となれば彼の弾圧迫害者は**神意思に逆らう者＝サタン**という事になる。  
「人類を呪い滅亡を加速してる憎悪陰謀集団」なのだ!!!

#### ⑤上記(4)内容＝「憎悪陰謀集団」の謎を解く書物紹介：

(1)コラーン、井筒訳、岩波書店、

「己を高級、他者蔑視のサタン問題」啓示はユダヤ教外伝がオリジナルといわれる。

神が最も忌避するサタン思想の逆転論理は「人は皆平等で生きるべし」になる。

法華経に依拠する日蓮宗も本来は人間平等性の宗教、だが創価学会の様な裏切りも?!

(2)神代康隆、神の計画書：黙示録大予言、学研、1983、

人類滅亡を陰謀する**憎悪動機**秘密結社の思想と宗教、その現代実態報告。

(3)赤間剛、神々の陰謀1, 2, 3、時の経済社、1984, 1985, 1985

世襲王侯財閥貴族**没落阻止同盟**＝秘密結社フリメゾンとその思想、実態の報告。

現代世界の主流＝資本主義インターナショナルは彼らの傘下にある。

(4)K. Millegan, & A. Sutton, 闇の超権力スカル&ボンズ、徳間書店、2002.

「**国家国民は貴族の奴隷**」と言うサタン思想上にあるゲルマン極右派＝

世襲王侯財閥貴族の秘密結社「骸骨と骨」の**無神論放埒思想**と実態報告。

(5)矢部武、人種差別の帝国、光文社、2004.

**没落白人反乱**としての有色人種憎悪-白人集団の問題と米国実情報告。

### ③なぜ人類は破滅せねばならないのか?! = 「憎悪陰謀集団」の謎を解く

- (1)ジュセリーノ氏も指摘する事だが、人類は余りにも罪を犯してきたと言う一つがある。天地と生命、人類創造者の神に反逆するサタンにこそ、その秘密が解かれる。サタン本質は己を高等、他者を下等と見て、共に生きる事を忌避する者の定義になる。人類史を回顧すれば戦争の歴史ばかりである。戦争とは他者を下等と見るからこそ殺戮 = 「共に生きる事の拒否行為」となる。人類はその意味で神の反逆者 = サタンになる。その意味では人類は憎悪集団になる。
- (2)戦争起源は神が禁じたエデンの園の知恵の実を食し、楽園追放、人類は労働苦の下にて生きねばならなくなる。人間だけが突出した「欲望と知恵」は表裏関係にあり、資源土地闘争を巡って闘争する事が人間日常になった。神は全知全能の完全だが、人間特有の欲ばかり肥大で高慢浅知恵が破滅を招く(人間不完全性)。その典型こそが現代先進国と言われる所の過剰労働苦と物資エネルギー過剰消費結果の現代天候異変と資源飢渴に他ならない。神の教えに背いた結果にはかならないでないか!
- (3)ご丁寧にも西欧で発展した科学は神を後ろに追いやる物質金銭崇拜の資本主義を結果、之こそは神が禁じたあの禁断の木の实なのだ。ジュセリーノ氏家庭はカソリック、だがケチな信仰者でなく、寛大に信仰を説いている。宗派は問題でないのだ。彼は姿なき指導者に導かれて人類終末を仮想のあの世滞在を通じて見てしまったのだ。彼が信仰を説く理由はこの仮想未来現実体験に由来して神真実を確認したからだ。
- (4)筆者には大疑問がある。現在のアフリカ人の滅亡趨勢だ。彼らは神の教えに沿うエデンの園の人々であった(人類ご本家)。だが神に逆らう西欧文明の煽りで現在疫病(エイズは極右思想の米国陸軍フォートデトリック研究所開発の人工細菌兵器)と温暖化進行天候異変で旱魃と砂漠化、他方で大洪水で民族滅亡危機にある、この結果は彼らの大罪なのだろうか？。
- (5)ジュセリーノ氏も指摘する事だが、彼の言う事は世界支配の少数者には既に熟知の事、だから彼は一般の人々に危機を説くのだと言う。之は筆者サイトの基本方針にも合致。
- (6)と言う事は「80%人類破滅は少数者生き残り者の為の大陰謀でないか!」。  
彼らこそが②⑤の識者複数が指摘する人類憎悪集団 = サタン正体でないのか!
- (7)誰が天啓者ジュセリーノ氏を現世に送り込んだか?!、あの世は全知全能世界、問題サタンを知り尽くしている。反サタンの為である。人類救済が可能だからこそ彼は送り込まれたのだ。諸兄弟にはかってない超試練になるが、勝利有らばこそ有意義な天啓があったのだ!!!